

# 夕張川かわら版

「夕歩道」とは  
夕張川と流域住民をつなぐ  
川の道です

# 夕歩道

平成17年晩秋

其の四

## 最初に雨煙別川の上流へいきました



水は遠く通つてる夕張川  
本流と違うなあ



網を入れるラクトジョウがいました。  
下にスナヤツメ見えるかなあ。



こんなところす。倒木だらけでも自然の川で感じます。

# 夕張川支流も調べたい!

## 阿野呂川・雨煙別川調査

夕張川にはたくさんの支流があります。みなさんが普段よく見かける「よ」というわけで、有志が集まり、川は、もしかしたら夕張川ではなく、栗山町内の阿野呂川と雨煙別川の上流を歩いてみることにしました。これからはいろいろな支流へいくぞ。

- 日時/平成17年9月19日(火) 敬老の日 いい天気だったあ。
- 場所/阿野呂川・雨煙別川上流
- 参加者/夕張川流域住民有志(札幌市、江別市からも参加者あり)

## 栗山ダムの下流でも調査しました



「スジエビ! スジエビ!」とにかいたさ  
んいました。



↑ここには何がいますか?



「コイノラフナを捕獲! ヘラフナの大き  
さい。」



↑マメだっている阿野呂川。

## 阿野呂川の上流です。



↑アオダイショウの抜け殻。1.5mくらいありそう。



↑ひたすら上流へりました。



↑「楽しいよ!」という声が聞こえそう。



↑「深いところを歩くのがイイ」んだって!

## 夕張川クイズ 問 ここはどこでしょう?

夕張川本流からの問題です。 ヒント:橋の上から撮ってます。



※答えは一番最後です

## シューパロ湖と夕張岳



手前に見える藍色がシューパロ湖です

**シンポジウムを開催します**  
「いい川をつくらう」夕張川セミナーの創造!

- 日時/平成17年11月18日(金)
- 場所/栗山町カルチャープラザEKI
- 主催/栗山町いきもの里づくり推進協議会

夕張川をもっといい川にしたいためにはどうしたらいいのでしょうか。流域住民が恒常的に意見交換していく場づくりをはじめようというのがシンポジウムの主旨です。「夕歩道」次号で詳しく紹介します。



## 「川の学習手引き書」をつくります

夕張川で楽しく安全に遊ぶためのガイドになる。手引き書をつくらうということになりました。「夕張川で遊べるの?」「いいところあるの?」「川はあぶないよ」という声にどう答えるか。流域の有志が集まり編集委員会を立ち上げていくことになりました。編集作業の状況は「夕歩道」の次号から「手引き書作成レポート」で紹介していきます。



川の学習手引き書作成のために行われた意見交換の様相(H17.1.24 mon)

## まずは魚類調査へ、いざ!



↑土木現業所 江別河川事務所の川のフロロのみなさんも駆けつけてくれました。



↑見よ! 2回目の余裕、深いところもへっちゃらな子も。

**ヤリキレナイ川魚類調査 第2弾**

大変です! 子ども達は自信満々です!

- 日時/平成17年10月3日(月)
- 場所/由仁町ヤリキレナイ川

由仁小学校の子ども達に大好評だったヤリキレナイ川魚類調査&ゴミ掃除大作戦(H17年6月23日実施)。第2弾となる今回は上流に場所を移し、魚類調査と川づくり体験をしました。



↑魚をつかんで得意満面!

- 今回の調査で  
みつかった魚たち
- ・エソウグイ
  - ・キンブナ
  - ・ギンブナ
  - ・ドジョウ
  - ・フクドジョウ
  - ・イバラトミヨ
  - ・スジエビ
  - ・スナヤツメ

↑こんなにたくさん魚がいました。ヤリキレナイ川でもこんなに魚いるんだね。

## 石を組んで積み上げて...



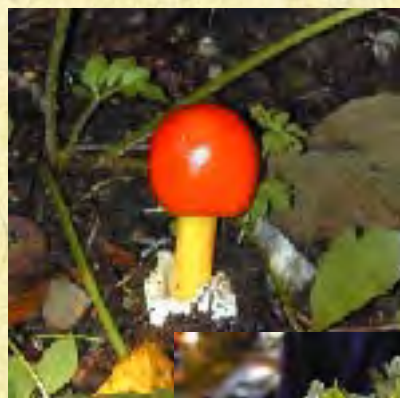
自然の河原と同じように石を組んで積み上げ、川の流れてみることに。自然の水の流れが瀬と淵をつくってくれます。魚をはじめ、生き物にとっても棲みやすい川づくりの第一歩です。



↑「スゴイ! みんなで組んだ石積みです。川に泡がまきまきうれしいなあ」子ども達の感想です。

# 夕張川の生き物たち

今回は、「夕張川支流も調べたい〜阿野呂川・雨煙別川調査」(1面)で見つけた生き物を紹介します。調査ではこのほかにもたくさん、びっくりするような生き物たちがみつかりました。次号でもまた紹介しますよ〜。お楽しみに！



↑「タマゴタケ」は、色 形からして毒キノコに見えますが食用だそうです。この状態は傘が開く前です。



↑とってもきれいな花。だけど実はとっても怖い「トリカブト」



↑勢いよく尾を振っているのは、サンショウウオの赤ちゃん。



↑道端のこんな水たまりで発見！

**\*サンショウウオ**  
カエルやイモリと同じ両生類で夜行性。繁殖期以外は土の中や落ち葉、石の下などに隠れているそうです。そういえば「山椒魚」という井伏鱒二の小説がありましたね。

**\*トリカブト**  
猛毒のアルカロイドを含むことは、多くの事件で有名。かつてアイヌは毒矢に利用したそうです。全草に毒があるそうですが、毒=薬で、昔から生薬(強心、鎮痛剤)として利用されてきたという一面も。

**\*タマゴタケ**  
幼菌時に白い膜に被われ、卵のような形から命名。写真でいうと、キノコの根元の白いものがそうです。この膜を破って赤い傘、黄色地に赤いんだら模様柄のキノコが顔をだす。で、お味はというと、そんなに美味くはないという話ですが…。



かつてラチナが眠った白金川



ニューヨークからきたニックさんもいっしょに川下りひたぞ。



↑いってきま〜す↓



↑ハハハ…きもちいいわ。



↑乗ってみたいなあ。



「水がすくなくらい」多良津から南学田途中にある、岩盤帯もこのとおり、歩いて渡れそうでした。

# 「継立中学校、夕張川を川下り」「ん？じゃなくて」「ほぼ川歩き」

●日時／平成17年9月29日(木)  
●場所／夕張川 多良津橋から南学田あたり(塚田の渡し跡の手前)

継立中学校の3年生が川下りに挑戦しました。川下りコースは短めに多良津橋から南学田あたりに設定。この日は水が少なく「川下りが川歩き」になってしまいました。でも、ふだんできない体験に、おとも含めて、いい笑顔がいっぱいでした。

当時の白金川位置図



# 楽習会のすすめ方

「川のなりたちを知る」、「魚をとる」という2つのテーマにあわせて、参加者を2つのグループに分け、それぞれの場所で楽習しました。

**テーマ1 川のなりたちを知る**  
活動場所 下流側(埋まっている1号床止めの下流付近)



清幌橋から

**楽習の狙い**  
・川の水がどのように流れているかを体感する。  
・自然の流れが瀬と淵をつくっていることを知る。  
・瀬や淵が魚類の生息環境とどのような関係にあるかを知る。



川を歩いて下流の中州までいくことにしました。「きゃ〜」「すべる〜」最初はみんなたいへんでした。



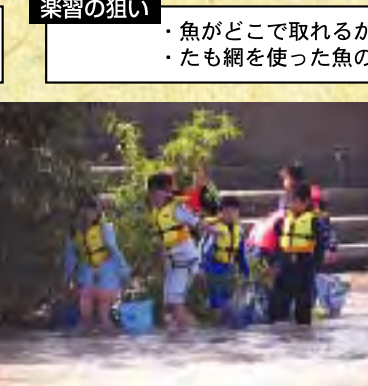
「もっと水につかりたいー!!」流れてしまう子も。

**テーマ2 魚をとる**  
活動場所 上流側(中島の周辺)



ひと回り、たくましくなりました。

**楽習の狙い**  
・魚がどこで取れるか、どんな種類の魚が獲れるかを知る。  
・たも網を使った魚の獲り方を知る。



魚獲りです。中州の周りを歩きながら魚を獲りました。



獲った魚たちは、水槽に入れて観察しました。



魚類調査で捕獲された魚たち

# 来年はみなさんも川の楽習会に参加しませんか？

川の楽習会は来年度も予定しています。実施日等については、「夕歩道」等でお知らせします。

# 川と生活2

## 宝ナル川

「砂金」一攫千金を夢みて 夕張といえば石炭で有名で、明治7年に地質学者ベンジャミン・スミス・ライマン一行が炭層を発見したことから炭坑開発がはじまりますが、それよりずっとむかし、夕張川は砂金の採れる「宝の川」として全国に知られていました。夕張川の砂金採取の歴史は古く、寛永年間(1624-1643)には採掘していたという記録もあるほど。シユーパロ湖周辺には、明治期から昭和初期まで続いた砂金採取の時代に砂金掘りがつづけた地名がそのまま残っているそうです。暴れ川をもろともせず、夕張川を上った強者達が後を絶たなかったそう。

「砂金掘りがつづけた川の名」 遠藤の沢、太郎沢、カネナシ沢、白金沢、一貫目堤防

砂金という金を想像しますが、もつと貴重なプラチナでも、夕張川には眠っていたそうです。湖に流れ込む支流に白金川という名前の川があります。その名のとおり、ここは白金プラチナが産出される川のようにです。

わたしたちは、川のことを知っているようで、まだまだ知らないことがたくさんあるのではないのでしょうか。夕張川・川の楽習会はその名のとおり、まず川へ行ってみて、川の役割や生き物たちについて楽しく学んでいこうというもので、今年で2回目をむかえる夕張川の自然体験学習の一環です。

●日時／平成17年9月26日(月)  
●場所／南幌町清幌床止め  
●主催／夕張川なんでも探検隊  
●共催／みどり野小学校、栗山町いきもの里づくり推進協議会、夕張川流域会議  
●協賛／江別河川事務所  
●参加者／南幌町の小学生はじめ、夕張川流域の方々